

第1回（仮称）堺ミュージアム基本構想検討懇話会 主な発言と対応方針

議事概要（主な意見）

＜コンセプトに関して＞

（仮称）堺ミュージアムのコンセプト

歴史・文化の継承・発信・連携の拠点となる堺ミュージアム

発言	対応
○ICOM（国際博物館会議）が2019年の京都大会を経て2022年に博物館の定義を変えたように、世界が抱えている問題に対し、博物館がどのように対応していくのが新しい博物館の役割である。そのような背景を踏まえ、新しいミュージアムが市民生活や社会にどのように寄与していこうとしているのかを表明する必要があるのではないか。（大澤構成員）	基本構想案の策定を進める中で、コンセプトも柔軟に変更していく。
○現在世界が抱えている問題（SDG s や多様性の問題など）そのものに、博物館自身がどう対応していくかということを考えなければならない。それが、新しい博物館の役割である。そのような背景を議論したうえでコンセプトを検討していく必要がある。（藪田座長）	
○観光的には他都市や他施設との競争で勝つ必要があるが、この歴史・文化の継承・発信・連携の拠点というのが、魅力的なのか疑問に感じる。（佐藤構成員）	

＜基本理念（全体）に関して＞

発言	対応
○2019年の文化審議会の博物館部会の答申では「つなぐ」ということが重視されている。このようなトレンドとなる言葉をもう少し基本理念の中に埋め込む必要がある。（藤野座長代理）	基本理念（2）、（3）にキーワードとなる「つなぐ」を使用
○地域のための博物館と、観光を意識したワールドワイドな博物館とは求められる役割が違うので、そのあたりの議論が必要である。（和泉構成員）	基本理念（3）および（4）を整理し、地域と観光の役割を書き分けた。
○地元の堺市民に向けて、発信するような文言も含めてはどうか。（國賀構成員）	具体的に堺市民がどう受け取る文言が必要なのかを再度聞き取る。

○基本理念が網羅的で分かりにくいかもしれない。何を目玉にどのようなストーリーで見せていくのかをはっきりさせる必要がある。（稲葉構成員）	基本理念を示すため、堺ミュージアムに必要な理念を網羅的に示した。 基本理念（１）に堺ミュージアムで見せたいコンテンツを追記。
○例えば経営資源（ヒト、モノ、ハコなど）で分類するなど、もう少し整理された形で提示してはどうか。（國賀構成員）	基本理念をうけて設定する「取り組むべきこと」に反映したい。

＜基本理念（３）に関して＞

（３）歴史資料に加えミュシャ・コレクションやヒストリックカー、本市が収集した美術資料等のコレクションを有効に活用し、分野を横断した幅広い展示や活用をおこなうことで、市民の意識醸成・向上の場及び観光客にとって来訪のきっかけとなり、堺の認知度向上に寄与する施設であること。本市の歴史文化資源をつなぎ市内各エリアの周遊を促進する施設であること。

発言	対応
○百舌鳥古墳群や、自治都市として堺が発展してきた歴史もあるのに、今の書きぶりだと、ミュシャ作品がいちばんの売りに見えてしまうのが引く。（國賀構成員）	基本理念（１）において、百舌鳥古墳群や中世堺というミュージアムの売りを提示した。
○観光マーケット的な考え方で言うと、「来訪のきっかけ」ではなく、堺ミュージアムに行きたいという目的の地にならないといけない。観光の目的の地として選ばれるためには、まずは関心を持ってもらい、期待を上回る体験をさせることをめざす必要がある。（佐藤構成員）	基本理念（４）の文言を以下の２案で検討。 ・堺来訪の主目的となり… ・来堺促進のきっかけとなり…
○「堺市の認知度向上に寄与」については、理念に記載する必要があるのか疑問に思う。（和泉構成員）	上記の修正をおこなうことで、当該文章は削除。
○認知度の向上に寄与する程度で良いのか、一度は行ってみたいと、もっと懂れるような、他施設との競争に勝って選ばれる堺ミュージアムをめざすべきではないか。周遊を促進するには、展示の内容だけでなく、関連する他の施設との連携や価値を共創していくことが必要だと思う。（佐藤構成員）	具体的な内容については、「取り組むべきこと」「ミュージアムの施設・機能」において記載。
○他の施設と比べて、堺ミュージアムではこんな体験ができるという、感情を揺さぶるような特徴が必要ではないか。例えば、「なぜそこにこんなものが、不思議が深まる世界の博物館、堺ミュージアム」みたいな理念はどうか（佐藤構成員）	「施設・機能」において必要な設備とするか検討。 キャッチな言葉やロゴ、宣伝の文句として具体的な計画策定時に検討する。

＜基本理念（４）に関して＞

（４）実物資料を用いた社会教育・学校教育の新たな拠点として様々な世代が交流・対話の主役となることのできる施設であること。住民と連携・協働し地域コミュニティの核としての役割を担うこと。

発言	対応
○「住民と連携・協働し、地域コミュニティの核としての役割を担うこと」というのは、実は一番大変なことで、コミュニティエンゲージメントをどうやっていくのかが一つ要点になる。日本博物館協会が、2000 年に対話と連携の博物館というのを出した。市民とともに創る新時代博物館というのがあり、対話と連携の活動原則をあげている。地域社会の中のアクターやセクターをつなぐ、ハブとしての位置づけが必要である。（藤野座長代理）	基本理念（３）では「核」よりも「ハブ（結節点）」のほうがふさわしいと考え、文言を修正。
○地域の博物館、市の博物館として、地域とのつながりについては、しっかりと理解する必要がある。（和泉構成員）	地域史を重視していることは「ここにすれば堺がわかる」という基本理念（１）の文言で表している。基本理念（３）で「地域コミュニティのハブ」という文言を盛り込んだ。具体的な「つながり」の方法は意識して検討していく。
○学校教育の中で、博物館が十分に活用されていない。学校の授業で教科書以外にタブレットを活用するようになり、子どもが博物館と繋がる機会が広がった。（藪田座長）	基本理念（３）を具体化する「取り組むべきこと」「施設・機能」で学校教育と博物館の連携等について検討する。

＜基本理念（５）に関して＞

（５）グローバル化、多様化する現代社会において、全ての人が平等に情報を収集、活用できるデジタル技術を駆使した「ミュージアム」であること。

発言	対応
○全ての人が平等にというところで、デジタル技術だけが全てなのかと感じた。デジタルだけに集約されるのではなく、バリアフリーの問題を先に述べるべき。また、基本理念（２）と一緒にし、かつ分けるような感じで、人にとっても、モノにとっても、安全安心なミュージアムをめざすといった表現の方がよいのではないか。（國賀構成員）	「全ての人に開かれ、平等に様々な経験を提供する場である」ことを基本理念（５）で独立させた。その手法としての「デジタル技術の活用」については、「取り組むべきこと」「施設・機能」で検討する。 基本理念（２）にモノ・ヒトにとって安心安全なミュージアムであることの追記を検討。

<その他>

発言	対応
○基本構想の中でどこまで議論するのかということはあるが、組織的な問題や、効果的・理想的な組織体制についても、この場で意見交換できたらと思う。 (和泉構成員)	懇話会で踏み込めるかどうかは定まっていないが、今後検討していく。
○この新しい堺ミュージアムと堺市の既存の博物館との関係を整理する必要があるのではないか。堺ミュージアムを中核館として、各館との有機的な連携を確立する方向もあり得る。(大澤構成員)	市内の歴史文化施設との連携・協働の在り方について検討し、「取り組むべきこと」に記述を加える。
○世界的な財産を寄付されたということは、その価値を地域住民、国内、世界へと発信する義務を負っている。アルフォンス・ミュシャ作品を中心とした西洋美術なども目玉として輝かせて欲しい。(藤野座長代理)	—
○ヒストリックカーを展示公開・収蔵するには大きな開口部が必要となることから、登録博物館かつ公開承認施設をめざすなかで、ヒストリックカーの扱いについては非常に懸念されるところである。(國賀構成員)	—
○ミュージアムの整備というのは、非常に重要な観光コンテンツであり、観光関係者にもメリットがある。観光の視点で言うと、観光の二極化（旅行に行く人と行かない人）と若者化（20代の旅行経験率は増加、シニアは減少）が起きており、若者をターゲットに考える必要がある。(佐藤構成員)	—
○文化施設や文化財を観光に役立てるというのは、なかなか難しい。具体性を持ってきたときに、キャッチな言葉やロゴ、宣伝の文句を考えていく必要がある。(稲葉構成員)	具体的な計画策定時に検討する。
○博物館としては、いい所蔵品があるかどうか大事。今まで蓄積してきたものをどれだけ研究し、調査し、磨いて発信していくかということが大切。(藪田座長)	—
○大英博物館やルーブル美術館のような、まさに所蔵品を観に行く博物館ではなく、面白いので行ってみたというような海外の博物館の事例や、その基本理念がどのような書き方をしているのかについて調べて	海外の博物館の事例は支援業者調査済み。

おいて欲しい。（稲葉構成員）	
○例えば神戸市は、旧居留地にある博物館で資料を見せ、北野の異人館で建物を見せ、それらを巡回バスでつなげるといった方法を取っており、日本の国際都市のひとつの見せ方だと思う。それに対し、堺はどのように対抗するのか考える必要がある。博物館は、子育てと並んで都市間競争の大きな戦略の一つになっている。最近できた博物館が、どのような意図で整備されたのか調べておいて欲しい。（藪田座長）	国内の最近の事例については調査済み。